

晩学のすすめ

学問と向き合った元自衛官の人生

佐藤守男 著 四六判ソフトカバー160頁 本体 1,500円 ISBN978-4-8295-0739-1

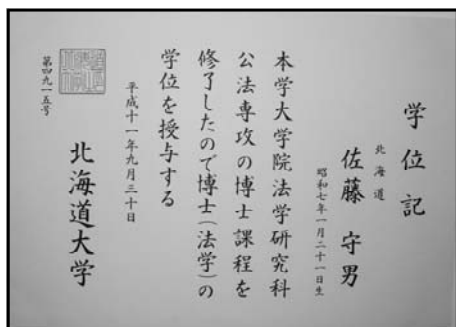
人生の最終章にどのように向きあうか
それは第二の勝負・挑戦の時でもある

定年後、大学院に学びの場を求め、
67歳にして博士号を得た元自衛官の晩学の軌跡

著者は、1950年の警察予備隊創設に参加（第1期生）。
陸上自衛隊では「情報」ひとすじに勤務、
大韓航空機撃墜事件の際には最初にソ連の通信を傍受した人物。
さまざまなエピソードを交え、学ぶことの面白さを伝える。



佐藤 守男（さとう もりお）
1932年三重県生まれ、1999年北海道大学大学院法学研究科公法専攻博士課程修了、博士（法学）。
現在、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター研究員。
著書に『情報戦争と参謀本部一日露戦争と辛亥革命―』（2011年）『情報戦争の教訓―自衛隊情報幹部の回想―』（2012年）『警察予備隊と再軍備への道―第1期生が見た組織の実像―』（2015年）『極東の隣人ロシアの本質―信ずるに足る国なのか?―』（2017年、以上芙蓉書房出版）がある。



5月19日(日)放送のNHKスペシャル「日本の謀報」に、大韓航空機撃墜事件の当事者として佐藤さんがインタビュー出演しました



第1章 晩学への夢

- 1 終戦前後の生活
戦火をのがれて三重に疎開／国民学校から中等学校への強制受験／アメリカに押しつけられた学制改革の中で
- 2 警察予備隊に入る
警察予備隊の創設／三菱重工業を退職、警察予備隊一期生として入隊／疎開家族への冷たいまなざしをはね返した弟二人の早稲田進学

第2章 念願の大学進学を実現する

- 1 北海学園大学（夜間部）へ
情報勤務自衛官と学生の二足のわらじ／今も忘れない法学部の講義
- 2 四年間の大学生活
社会科教員免許を取得／学長表彰を受け卒業

第3章 通信教育による再学習

- 1 自衛官を定年退職
若年定年制の自衛隊を五三歳で退職／防衛庁事務官として再任用／後進の指導にあたった七年間
- 2 慶應義塾大学法学部（通信教育部）へ入学
隊務をこなしながら受講／テキストによる学習と夏季のスクーリング／卒業論文も含め二年半で単位取得

第4章 60歳で大学院へ挑戦

- 1 北海道大学大学院修士課程へ入学
社会人入試に合格／苛酷な毎日だった一年目／修士論文に集中した二年目／北海道総合研究調査会特別研究員としてロシア関係業務も行う
- 2 北海道大学大学院博士課程へ進む
研究者として自立のため博士課程へ／博士論文の概要／博士論文提出、博士号被授与／研究活動の概要

参考資料、終戦前後の略年表（1940年～1960年）

7月上旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 6月28日（木）です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
晩学のすすめ		
7月新刊	本体 1,500円	部